

特定外来
生物

ナガエツルノゲイトウ

にご注意ください！

- ▶ 南米原産の多年草で、主に水辺に生育する植物。
- ▶ 河川、水路、ため池、水田、畦畔等で生育する。
- ▶ 日当たりのよい水辺では群落となる。
- ▶ 茎がちぎれやすく水に浮き、根や茎の断片から活発に再生し生育する。
- ▶ 夏～秋頃に、球状の白い花をつける。



非常に強い繁殖力・再生力、乾燥にも強い



特 徴

出典:「ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル」農林水産省、環境省、農業・食品産業技術総合研究機構



葉の先はややとがる



茎はストロー状(空洞)



白い球状の花



節から発根、横に這い生長

ナガエツルノゲイトウは、定着すると駆除が困難になります！

早期発見・早期駆除が重要です

ポイント ①

見回りし、発見したら連絡をお願いします！

1 ほ場周辺を見回り、水田・畑等への侵入がないか確認

チェックする場所→ 水田周辺、畦畔、農業機械等の進入路、用排水路

2 ナガエツルノゲイトウと思われる植物を発見したら下記にご連絡ください

【農地の場合】

岡山県病虫害防除所 (086-955-0543)

岡山県農林水産総合センター農業研究所作物・経営研究室 (086-955-0275)

またはお近くの農業普及指導センター

【農地以外の場合】

発生場所の市町村

または岡山県自然環境課 (086-226-7309)

拡散させない！繁茂する前に駆除してください！

1 刈払い機等の機械除草はしない

刈払いによる植物断片が農地等に拡散する恐れがあります。

2 除草剤を使った防除

水田、畦畔では登録のある除草剤による防除が有効です。

（なお、除草剤が使用できない場合は、断片（根を含む）が残らないようにていねいに抜き取り、丈夫なビニル袋に入れ密閉し、日光に当てて完全に枯らします。ビニル袋の処分は市町村にお問い合わせください。）

3 水田における侵入、流出防止対策

水口にネット・網を取り付け、水路からの茎断片の侵入を防止します。
発生した水田は 田植前や落水時に水尻にザル等を置き、茎断片の流出を防ぎます。

注意！ ナガエツルノゲイトウは特定外来生物に指定されています。
放出、栽培、保管、運搬、譲渡、輸入などが禁止されています。

水稲栽培では水田内や畦畔で使用可能な除草剤の使用が有効です。
いずれの剤も再生初期に処理すると防除効果が高まります。

		薬 剤 名	使 用 時 期	本剤の 使用回数
移植 水稲	初期剤	ピラクロン1キロ粒剤 (※成分にピラクロニルを含む)	植代後～移植7日前又は移植直後～ノビエ1.5葉期(但し、移植後30日まで) 移植時(田植同時散布機で施用)	1回 1回
	初中期 一発剤	バッチリLX1キロ粒剤 (※成分にピラクロニルを含む)	移植直後～ノビエ2.5葉期(但し、移植後30日まで) 移植時(田植同時散布機で施用)	1回 1回
	中期剤	ウィードコア1キロ粒剤 (※成分にフロルピラウキシフェンベンジルを含む)	移植後7日～ノビエ4葉期(但し、収穫60日前まで) (※湛水散布)	2回以内
	後期剤	ロイアント乳剤 (※成分にフロルピラウキシフェンベンジルを含む)	移植後20日～ノビエ5葉期(但し、収穫45日前まで) (※落水散布またはごく浅く湛水して散布)	2回以内
水田 畦畔	田植 以降 非選択性 除草剤	ロイアント乳剤 (※成分にフロルピラウキシフェンベンジルを含む)	収穫45日前まで(雑草生育期)	2回以内
		ザクサ液剤	収穫7日前まで(雑草生育期)	2回以内
		ラウンドアップマックスロード	収穫前日まで(雑草生育期)	3回以内
		タッチダウンiQ	収穫14日前まで(雑草生育期)	2回以内

初・初中期剤はピラクロニル、中・後期剤はフロルピラウキシフェンベンジルを含む薬剤が有効です。

【体系例①】 ピラクロン1キロ粒剤＋ウィードコア1キロ粒剤

【体系例②】 バッチリLX1キロ粒剤＋ロイアント乳剤

防除方法に関するお問い合わせは、最寄りの農業普及指導センターへお願いします。(令和7年5月29日登録状況確認)

注意！ 河川敷や水路等、水系に流出する恐れがある場所では使用できません。
除草剤の使用にあたっては、ラベル記載事項を遵守してください。